



ハートで
ぬくもりと安心を
お届けします

さくらだより

第 34 号

2015年7月15日



特集

幼保連携型認定こども園 うづらこども園

～保育園・幼稚園を越えて～

●FREE フリー／子どもの元気配信中！

光る泥だんごを作ってみよう！

●Theme テーマ

ココロの休め方

●会計報告

●サービスの色々

生き生き暮らせる地域づくり

東高瀬川センター
デイサービス利用者さんの作品です。

特集

幼保連携型認定こども園 うづらこども園

～保育園・幼稚園を越えて～



認定こども園の特長とは

～二本の柱～

認定こども園の役割には二本の柱があります。

「保育」と「幼児教育」を子どもたちに提供する

通園する子どもたちは認定こども園というひとつの場所で保育園が担ってきた「保育」と幼稚園が担ってきた「幼児教育」を受けることができます。実際には今までも保育園の現場では「保育」と「幼児教育」の二つを切り離して子どもたちと接することはありませんでした。その意味では制度がやっと現実に追いついてきたという面もあります。

また認定こども園にはその地域の実情に合わせて4つのタイプ①幼保連携型、②幼稚園型、③保育所型、④地方裁量型が設けられています。このうち、うづらこども園は①の幼保連携型を採っています。これは認可幼稚園と認可保育園が連携して一体となつて認定こども園としての役割を果たすものです。

ただし、原則として幼保連携型と保育所型に入園するには行政から「保育に欠ける」(児童福祉法24条1項法文のまま)との認定を受けなければなりません。幼稚園の役割をも備えた認定こども園とはいえ、現在、いわゆる

図1

- ・保護者の就労状況の変化等による転園(保育園↔幼稚園)もあり得た。
- ・保育園が足りず待機児童が多かった。
- ・そして様々な要因から少子化が進んで行った

平成27年4月、創立62年目を迎えた社会福祉法人京都老人福祉協会「うづら保育園」が「幼保連携型認定こども園 うづらこども園」に生まれ変わりました。「子ども・子育て支援新制度」により誕生した「認定こども園」は本園を含め京都市内に10カ所あります。それは保育園と幼稚園の良い所を一つにしたものである...ということはよく耳にしますが、今までの保育園とはどのように違う特色が生まれたのでしょうか。そして、今でも多くの保育園が従来の「保育園」としての存続を望ぶことも多い中で、当法人が「幼保連携型認定こども園」へ舵を切った理由はどこにあるのでしょうか。

認定保育園が生まれた背景

～より子育てしやすい社会に向けて～

今までは就学前の子どもは親の就労の有無等により、保育園と幼稚園に分かれて幼年期を過ごしてきました。しかしこの制度は、通園する子どもたち、子育てをする保護者、そして社会

幼稚園教育時間(1日4時間程度)利用の子どもを受け入れは3%までという決まりがあります。

子ども・保護者と認定こども園は、直接契約によって結ばれることになり、保護者は利用料を直接、子どもが通う認定こども園に支払うこととなります。

また将来的に改善が期待される諸点を抱合しつつも、認定こども園の誕生は正に我が国の保育・幼児教育の大転換点になったのです。

地域の全ての子育て家庭を対象にした子育て支援

例えば子育ての不安に対して相談を受ける、また保護者と子ども、あるいは子ども同士、保護者同士の触れ合いの場を設けるなどがそれぞれにあたります。

私達うづらこども園では、お盆、春休み、休日保育も子どもたちの受け入れを行い、土曜日も平常通りの保育時間であったり長時間保育の充実等、特に働く保護者の皆様からご好評を頂いています。また保育・幼児教育だけでなく、同じ建物の中で実施している学童クラブほか、赤ちゃんから学童期の子どもたちまで広くカバーする子育て支援事業を展開しています。



うづらこども園の元気な子どもたち

京都老人福祉協会が 目指すものとうづらこども園

～誰もが安心して暮らせる地域づくり～

ここまで認定こども園について見てきましたが、この伏見地域を見渡しても、まだまだ従来の保育園、幼稚園はたくさんあります。その中で、当法人が「幼保連携型認定こども園」に舵を切ったことには理由があります。

まず、私たち京都老人福祉協会が目指す社会は「誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けることができる社会」です。「誰も」の中には、高齢者、子ども、障がいをもった人、子育てしている保護者、商店街や若者、そして私達を含みます。

そして、全ての人がそれぞれの力を出し合つて支え合う優しい社会の実現を目指します。そのために、まず私達は地域社会から求められることにはためらわずに取り組もうと思つていきます。

それは子育てを社会全体で見守つて行く「子ども・子育て新制度」に則した新しい保育・幼児教育のかたちである「幼保連携型認定こども園」の目指すものと重なりあっているのではないかと考えています。

そして深草地域で育つ子どもたちの健やかな成長と、子育てをする保護者の皆様を様々な形で応援させて頂くことで地域社会へ貢献したいと考えています。



光る泥だんごを作ってみよう!

“泥だんご” 子どもの頃に一度は作ったことがある、という方は多いはず。そんな“泥だんご”はとっても奥が深いって知っていました? 少しの手間をかけてあげるだけで、ピカピカに光る泥だんごが作れるのです。

子どものあそび場である砂場ですが、この砂場には衛生的な問題もあります。マナーの悪い飼い主たちが、犬が糞をしてもそのまま放置してしまったり、ゴミやガラスの破片が混入していたり、管理の行き届かない砂場は雑菌が繁殖しやすくなります。その対策として児童公園では、ネットやシートをかぶせたり、フェンスで砂場を囲って犬猫が入ってくるのを防いだり、定期的に砂を高熱処理したりしています。

しかし泥あそびというのは、自分が汚れてしまう遊びではあるものの、少々不衛生な環境も免疫を鍛える効果があったり、そのまま口に手を入れてしまわないよう「あそんだ後は手を洗う」という自分で衛生を守ることを教える絶好の機会です。

子どもも大人も関係なく、作り出すと止まらなくなる光る泥だんごの作り方を紹介します!

- 1 良く乾いた土(不純物が少ない方がよい)に少量の水を垂らし、ギュッキと握って土台となる玉を作ります。その上から乾いた土をかけて、全体の形を丸くし綺麗な球体にしていきます。
- 2 かけた土を指の腹でなぞるように落としていき、なめらかにしていきます。この作業を繰り返します。きれいな球体ができたら、乾いた雑巾など柔らかいものの上に置いて直射日光を避けて自然乾燥させます。
- 3 約1時間が目安です。休ませた後、土をかけていってなじませます。
- 4 そおと表面を削るように手でこすって、ざらざらした面をつるんとした面に変えます。数十秒こするだけで一気に色合いが変わるはず。ジャージなどでこするとより光りやすくなります。

作り方

泥だんごは刺激がいっぱい

指先を使って繊細な作業をしていくので、脳への刺激へと繋がります。子どもにとっては、はさみを使い、のりを指先でつけ、折り紙を折り、粘土で物を作るなどの活動は、脳にとってもとても意味ある活動なのです。泥だんごはそんな指先を使った活動の中でも自然と触れ合い、夢中になれるあそびなのです。また、大人にとってはさらに深く考え作り上げることで、脳の活性化に繋がって認知症予防にもなるといわれています。泥を触ることで、冷たい、気持ちいいと泥の感触を知り、その感触を楽しむだけでも脳には大きな影響を与えています。

自然と触れ合う機会が少なくなっている今、泥あそびに抵抗を感じてしまう方も多いかと思いますが、しかし、泥だんごを作る工程には子どもにとっては成長の基盤となる刺激が、そして大人子ども関係なく夢中になれる刺激がたくさんあります。奥が深く楽しめる泥だんご、ぜひ自然とあそぶ楽しさを味わってみてください。



泥だんご作り、泥んこあそびを楽しむ子どもたち。



うづらこども園学童クラブクローバーの子どもたちが作った泥だんご。表面が固くなった泥だんごに、コンテパスを塗りました。

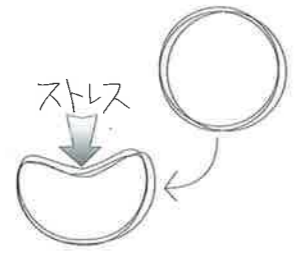
とっても簡単なので、ぜひ作ってみてください!

ココロの休め方

ストレスとは…

ストレスとは「歪み」とも表現され、外部からの刺激を受けた時に生じる緊張状態のことです。ストレスを受けた時、男性ホルモンが分泌されるため女性は身体バランスを崩しやす

いといわれ、男性はひとりで抱え込みやすく心のバランスを崩しやすいといわれています。ストレス反応は心理面、身体面、行動面の3つに分けることができます。心理面のストレス反応には活気の低下、イライラ、不安、抑うつ(気分の落ち込み、興味、関心の低下)などがあります。身体面でのストレス反応には体の節々の痛み、頭痛、肩こり、腰痛、目の疲れ、動悸、息切れ、食欲低下、不眠などさまざまな症状があ



ります。また行動面でのストレス反応には飲酒量や喫煙の増加、仕事でのミスやヒヤリハットの増加などがあります。「前髪が上手くセットできない」とか「職場のパソコンがフリーズする」といった日常生活での小さな出来事もストレスの原因になるといわれています。

ストレスと聞くと嫌なことや辛いことを連想される方も多いかもしれませんが、怒哀楽すべては外部からの刺激を受けた緊張状態であり、ストレスの原因になります。初めての場所への旅行や新しい事に挑戦する時には「心地よい緊張感」と思い、ストレスとは感じていない方が大半を占めますが、「ワクワク・ドキドキ」も実はストレスといえるのです。

法人での取り組み

京都老人福祉協会では、職員面談やメンタルセルフケア研修・ハラスメント研修などを開催しています。平成22年に健康相談室を、平成25年には明るい職場委員会を発足しました。相談室や委員会

は、個人的な疑問や悩みに耳を傾け職員ひとりひとりのストレス緩和とより良い職場になるよう努めています。近年よくいわれるようになったハラスメントに対して、職員規定を作成、制定する事ができました。今後も皆様と共にさらに働きやすい職場を目指します。

発散方法

発散方法は人によってさまざまですが、代表的な事は、家族、友人に話を聞いてもらう、入浴や運動をしてココロも体もリフレッシュする、また、買い物に出かけることや、好きな音楽を聴く、好きな食べ物を満足するまで食べるなどして気分転換をするなどがあります。



過剰な食べすぎはよくありませんが、ストレスを溜め込み続けると、ココロだけでなく体の調子も悪くなってしまいます。自分に合った発散方法を見つけ、ストレスと上手く付き合っていけるといいと思います。

平成26年度決算報告書

社会福祉法人 京都老人福祉協会

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表表体。流動資産、固定資産、負債、純資産の部を記載した表。

事業活動計算書

自平成26年4月1日至平成27年3月31日

(単位:円)

事業活動計算書表体。支出の部、収入の部を記載した表。

資金収支計算書

自平成26年4月1日至平成27年3月31日

(単位:円)

資金収支計算書表体。支出の部、収入の部を記載した表。



わたしのコラム 東高瀬川センター 伏見センター

総括主任 大西一代



こんにちは!

京都市深草・南部地域包括支援センターです

平成27年4月より「京都市深草・南部地域包括支援センター」を受託し、3か月が経過しました。法人内では東高瀬川、深草・北部、深草・中部に続いて4か所目の地域包括支援センターの受託となります。特に深草管内では3か所すべてを京都老人福祉協会が運営するということになり、厳しいご意見をいただくこともありますが、同じ法人だからこそできることもありますし、地域の皆さまに安心していただけるよう、運営していきたいと思っております。



広報委員 宮西加奈

最近、人との縁というのをよく考えます。縁がある人ない人、家族、友達、同僚。一言でも会話した人はなにかしら縁があった人。めぐりあわせ。つながり。担当していた利用者さんが亡くなられました。幼少期に母親と死別、親戚に育てられ、結婚歴なし、身寄りなし、財産もなし。ちょっとリリーフランキーに似てたかな?! なんにもないけど持病はいっぱい。

月末で実績と格闘中一本の電話、「チャイム鳴らしてるけど出て来られないんです」嫌な予感。電話の向こうで室内確認「どうしたんですか?」どうなってる? 「頭から血を流して倒れています」予感的中。119番。すぐに駆けつけ救急搬送。意識ありで一安心。傷もそんなに深くない、すぐに帰ってこれるはず。

編集後記

広報委員を担当して2年目になりました。「さくらだより」を作成していく中で、その記事について自分たちで調べ、時にはインタビューをさせて頂くことで、私たち自身も理解を深めることができました。また、読んで下さる方にも、「さくらだより」を通じて理解してもらえような分かりやすい記事づくりを心掛けてきました。

今号からは広報委員会に新たなメンバーも加わりました。それによって、これまでとはまた一味違った視点や内容で、「さくらだより」をお届けしていきたいと思っております。

生き生き暮らせる地域づくり

災害時の連携

地域福祉とは

地域において、福祉サービスが必要とする住民が、地域社会を構成する一員として主体的に日常生活を営むことができ、社会や経済、また文化などのさまざまな分野の活動に参加する機会をもてるようにすることです。

稲荷の家ほっこり

地域の方に開かれた場所であること、利用者様が施設の中から地域に出ていただく機会を多くもつことを大切に考えています。近隣の学区の運動会や敬老会などに、利用者様が職員と一緒に参加したり、安全ボランティアの活動に参加したりして地域に出ていくことを続けています。

2階のつどいの広場には地域の親子さんがたくさん来られますし、クラフトサークルやフラワーアレンジメントなどの講座は地域の方にも掲示板などでご案内し

て、ほぼ毎回数名の方にご参加いただいています。

防災訓練

3月に行った消防訓練では、地域の方にもご参加いただき、職員とともに避難訓練を行いました。消防署の方に消火器の使い方を教えていただいたり、非常時の食事作りを学んで試食をしたりもしていただきました。



消火器の基本的な使い方を教えてくださいました。

いざという時のポリ袋調理ご飯

材料 1人分

米 1/2合
水 105ml (米の重量の1.4倍程度)

作り方

- ポリ袋に、材料を入れる
- ポリ袋の中の空気を抜き、少し余裕があるくらいで輪ゴムなどで縛る
- 沸騰したたっぷりのお湯の中に沈めて、30分ほど茹でる

※
ポリ袋は耐熱温度100℃以上のものをご使用ください。



ポイント

電気が使用できなくなっても、カセットコンロがあれば簡単にできます。お米は洗わなくても1時間ほどの浸水で、ぬか臭さを感じなくなります。袋を開けて、そのまま食べることができますので、食器がありません。



災害時用の食品を試食。梅粥やミキサー粥、ミルクスティック、ビーフカレー等



消防訓練 中身が水の消火器で行ないました。

地域福祉の課題とこれから...

地域福祉は、人権尊重を基本に、だれもが住みなれた地域で生き生きと暮らせる地域づくりをめざし、地域住民、地域に関わる組織、団体などすべてのものが主役となつて進めていく事が課題です。

稲荷の家ほっこりは、これから、地域から参加していただくとともに地域に出ていく活動を続けて、地域の方に稲荷の家ほっこりをよく知っていただき、地域の皆様を支え、また地域の皆様から支えていただける場所でありたいと思います。